

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2004年3月25日
Date of Application:

出願番号 実願2004-001539
Application Number:

[ST. 10/C] : [JP2004-001539 U]

出願人 株式会社 プリントワン
Applicant(s):

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2004年12月2日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小川洋


出証番号 出証実2004-3000179

【書類名】 実用新案登録願
【整理番号】 14700701
【提出日】 平成16年 3月25日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 B42D 1/00
【考案者】
【住所又は居所】 東京都中央区新川1丁目15番2号 株式会社プリントワン内
【氏名】 真下 麻
【実用新案登録出願人】
【識別番号】 596026556
【住所又は居所】 東京都中央区新川1丁目15番2号
【氏名又は名称】 株式会社 プリントワン
【代理人】
【識別番号】 100075812
【弁理士】
【氏名又は名称】 吉武 賢次
【選任した代理人】
【識別番号】 100091982
【弁理士】
【氏名又は名称】 永井 浩之
【選任した代理人】
【識別番号】 100096895
【弁理士】
【氏名又は名称】 岡田 淳平
【選任した代理人】
【識別番号】 100117787
【弁理士】
【氏名又は名称】 勝沼 宏仁
【納付年分】 第1年分から第3年分
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 087654
【納付金額】 59,900円
【提出物件の目録】
【物件名】 実用新案登録請求の範囲 1
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1

【書類名】実用新案登録請求の範囲**【請求項 1】**

一側端に複数の綴じ孔が穿設され所要の印刷が施されて各ページを構成する複数枚の合成樹脂シートと、本として必要な枚数の前記合成樹脂シートを重ねて前記綴じ穴で綴じる綴じ具とを有し、前記綴じ具は、少くとも2つの綴じ穴にそれぞれルーズに嵌挿されて綴じ合わされるループ形状の複数の綴じ環で構成されていることを特徴とする耐水性本。

【請求項 2】

一側端に複数の綴じ穴が穿設され所要の印刷が施されて各ページを構成する複数枚の合成樹脂シート、本として必要な枚数の前記合成樹脂シートを重ねて前記綴じ穴で綴じる綴じ具とを有し、前記綴じ具は、少くとも2つの綴じ穴にそれぞれルーズに嵌挿されて閉じ合わされるループ形状の複数の綴じ環と、これら綴じ環を繰ぐ綴じ部とで構成されていることを特徴とする耐水性本。

【請求項 3】

前記綴じ具は、背表紙を構成する細長偏平形状の継ぎ部と、この継ぎ部の長手方向一側に連設され前記合成樹脂シートの綴じ穴にルーズに嵌挿されるループ形状の複数の綴じ環とが合成樹脂により一体的に構成され、前記綴じ環の自由端は前記継ぎ部の他側内面に係止されて閉じられるように構成されている請求項2記載の耐水性本。

【請求項 4】

前記綴じ具は、軟質な合成樹脂により前記合成樹脂シートの綴じ穴にルーズに嵌挿され2本の紐状体の先端を閉じ合わせ自在な閉じ合わせ部とされた少なくとも2つの綴じ環と、これら綴じ環の前記閉じ合わせ部とは反対側の位置で綴じ環を繰ぐ継ぎ部とで構成されている請求項2記載の耐水性本。

【請求項 5】

前記綴じ具の継ぎ部が本のタイトル等を直接印刷またはシール貼りにより表示する表示部とされている請求項2～4のいずれか1項記載の耐水性本。

【請求項 6】

前記綴じ環の左右両側縁に凹凸列が形成されている請求項1～5のいずれか1項記載の耐水性本。

【請求項 7】

前記合成樹脂シートが塩化ビニールで構成され、その厚さが0.1～0.2mmである請求項1～6のいずれか1項記載の耐水性本。

【請求項 8】

前記合成樹脂シートがポリエステルで構成され、その厚さが0.18～0.25mmである請求項1～6のいずれか1項記載の耐水性本。

【請求項 9】

前記合成樹脂シートが紙の表面に合成樹脂をコーティングして形成されている請求項1～6のいずれか1項記載の耐水性本。

【請求項 10】

前記合成樹脂シートにUVインクにより所要の印刷が施されている請求項1～9のいずれか1項記載の耐水性本。

【請求項 11】

前記合成樹脂シートの表面にエンボス、細溝等の凹凸加工が施されている請求項1～10のいずれか1項記載の耐水性本。

【書類名】明細書

【考案の名称】耐水性本

【技術分野】

【0001】

本考案は、浴槽やプール際等の水や湿気の多い場所において読むための耐水性本に関する。

【背景技術】

【0002】

浴槽に長い時間ひたると、その時間を有効に使用するうえで入浴読書が愛好されるようになっている。

【0003】

しかし浴槽にひたって本を読むと、浴槽から立ち昇る湯気により本が湿ってしまい、紙がしわになって本としての体裁を損ってしまう。そのため大切にしている本は浴室に持ち込むことが躊躇され、勢い廃棄してもよいような本しか読むことができなかった。

【0004】

そこでこのような浴室等の水蒸気の多い雰囲気中であっても支障なく読める本として水際や湯際で読む本が提案されている（特許文献1）。

【0005】

上記特許文献1に記載の本は、各ページを防水性のシートで構成し、このシートを綴じて本の形にしたものである。

【0006】

すなわち上記特許文献に示されている本は、防水性シートを複数枚重ね合わせてその重ね合わせたシートの中央の上下2箇所を金属製の綴じ針で綴じ合わせた中綴じ構造となっている。

【0007】

しかるに上記構造による本では、確かに各ページが防水性シートで構成されているので、水蒸気に当ってもしわになることもなく、浴槽等で読むことは可能であるが、防水性シートをその中央2箇所で綴じ針により綴じられているので、湯気に当ったりしたとき各ページが熱により変形しやすく、各ページが開らき勝手になって本としての形態を損うと同時に、ページをめくった際に安定した状態が保てにくく、両手で左右のページを押えて保持しなければならず、入浴時では極めて疲れるものとなる。

【0008】

また入浴を済ませたあと、読み終った本が閉じ状態を保ちにくく、保管時の扱いが乱雑になって整理しにくいなどの問題点があった。

【0009】

さらに綴じ針が金属製であるため、錆びて腐食し、合成樹脂シートを継着する綴じ具としての機能を早期に失い、長期にわたって本の形態を保つことは不可である。

【0010】

【特許文献1】実開平4-113974号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0011】

本考案は、入浴中であっても支障なく読むことができ、かつ本としての保形性に優れ、ページをめくっても形態を損うことがなく、片手で持って楽に読むことができ、耐久性に富む耐水性本を提供することを課題としている。

【課題を解決するための手段】

【0012】

上記課題を解決する手段として本考案は、一側端に複数の綴じ穴が穿設され所要の印刷が施されて各ページを構成する複数枚の合成樹脂シートと、本として必要な枚数の前記合成樹脂シートを重ねて前記綴じ穴で綴じる綴じ具とを有し、前記綴じ具は、少くとも2つ

の綴じ穴にそれぞれルーズに嵌挿されて閉じ合わされるループ形状の複数の綴じ環で構成したことにある。

【0013】

請求項2は、前記綴じ具を、少くとも2つの綴じ穴にルーズに嵌挿されて閉じ合わされるループ形状の複数の綴じ環と、これら綴じ環を継ぐ継ぎ部とで構成したものである。

【0014】

請求項3は、前記綴じ具を、背表紙となる細長偏平形状の継ぎ部と、この継ぎ部の長手方向一側に連設され前記合成樹脂シートの綴じ穴にルーズに嵌挿されるループ形状の複数の綴じ環とを合成樹脂により形成し、前記綴じ環の自由端は前記継ぎ部の他側内面に係止して閉じられるようにしたものである。

【0015】

請求項4は、前記綴じ具を、軟質な合成樹脂により前記合成樹脂シートの綴じ穴にルーズに嵌挿され2本の紐状体の先端を閉じ合わせ自在な閉じ合わせ部とされた少くとも2個の綴じ環と、これら綴じ環の前記閉じ合わせ部とは反対側の位置で綴じ環を継ぐ継ぎ部とで構成したことがある。

【0016】

請求項5は、前記綴じ環を継ぐ継ぎ部を本のタイトル等を直接印刷またはシール貼りにより表示する表示部としたことがある。

【0017】

請求項6は、前記綴じ環の左右両側縁に合成樹脂シートを安定させるための凹凸列を形成したものである。

【0018】

請求項7～9は、前記合成樹脂シートの材質および厚さを特定したものであり、また請求項10は、合成樹脂シートに印刷するインクを特定したものである。

【考案の効果】

【0019】

本考案によれば、各ページが合成樹脂シートで構成されているので、浴槽内で読んで湿ってもしづになったりすることなく、快適に読むことができることはもとより、読み終ったページを反転させれば綴じ具の綴じ環にそってスムーズに反転し、反転した状態でも形を崩すことなく次ページへ読み進むことができる。

【0020】

読み終ったのち本を閉じれば、整然とした保管形態とすることができる、浴室内に置いておいても湿気により形が崩れることもない。

【0021】

請求項2によれば、綴じ具の複数の綴じ環が継ぎ部で一体的に継がれているので、各ページの合成樹脂シートが乱脈になることがなく、本としての形態を常に保ち、保管時や読書時の取り扱いを著しく安定なものとすることができる。

【0022】

請求項3によれば、綴じ環の継ぎ部が広い面積を有する構造となるので、本の背表紙としての機能を持たせることができ、本のタイトルや著者名を表示するに適するものと/or ことができ、見た目にも豪華な外観の本とすることができます。

【0023】

請求項4によれば、綴じ具の継ぎ部を表示部とすることが可能であるほか、この継ぎ部を手提げ用の吊手としても使用することができ、ファッショナブル性を与えて手に提げて持ち歩くにも好適な本と/or ことができる。

【0024】

請求項5によれば、綴じ具の継ぎ環を継ぐ継ぎ部を所要の表示を施す表示部としたので、保管時の整理や管理を容易とし、所望の本を手早く取り出すことができ、特に温泉場や銭湯などにおけるサービス用の備品として用いるとき有効である。

【0025】

請求項6によれば、合成樹脂シートをめくったのち合成樹脂シートが綴じ環内で乱りにずれ動くことがなく、手に持って読む際に合成樹脂シートがばらけずに安定した状態で読むことができる。

【0026】

請求項7によれば、合成樹脂シートを安価に得られ、耐熱性も80℃程度を有するので、浴槽内であっても全く問題がなく、また300ページ(150枚)程度の本(単行本)であってもさほどの厚みにもならず、読書に支障をきたすこともない。

【0027】

請求項8によれば、一層耐熱性を高め、かつ本を薄く構成することができる。

【0028】

請求項9によれば、本としての体裁をゴージャスな感じのものとすることができます。

【0029】

請求項10によれば、湿気のある雰囲気中でもインクの剥れやにじみを生じることがなく、永久に保存することができる。

【0030】

前記いずれの綴じ具も合成樹脂の成形品として形成することができるので、安価に提供することができ、特に湿気に当っても錆びることがないので、長期にわたって本としての形態を形崩れすることなく維持することができ、家庭の浴室、温泉旅館の浴場等に常設するに適するものとすることができる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0031】

図1～図3は本考案による耐水性本1の基本的実施形態を示すもので、本の各ページを構成する例えば単行本形式の場合一辺が148mm、他辺が105mmの矩形状をなす多数枚の合成樹脂シート2、2…と、これら合成樹脂シート2の一辺を綴じる綴じ具3とかくなっている。

【0032】

前記合成樹脂シート2は、塩化ビニールまたはポリエステル等の耐熱性を有する材料からなるシートが用いられ、その一辺(図示の実施形態では長辺、本の形態によっては短辺)に2つの綴じ穴4、4が穿設されている。

【0033】

前記綴じ穴4、4により合成樹脂シート2を綴じる綴じ具3は、前記綴じ具4、4にルーズに嵌挿されるループ形状の綴じ環5A、5Aからなっており、この綴じ環5Aはループの一部が切離されてその切離部分に形成された閉じ合わせ部6の係合によりリング状を保つように形成されている。

【0034】

上記の閉じ合わせ部6は、図3(A)、(B)に一列を示すように、切離部分の各端部に「Z」字状の切欠6a、6aが形成され、これら切欠6a、6aの係合により図3(B)に示すように閉合してリング形態を保つようになされている。なおこの閉じ合わせ部6は、切離部分の一方に突起を、他方にこの突起が圧入される孔を設け、これら突起と孔との嵌着により切離端が固定されたものであってもよく、その閉じ合わせ部6の構造に関してはこれに限定されるものではない。

【0035】

前記合成樹脂シート2を塩化ビニールシートで構成する場合は、厚さ0.1～0.2mmの範囲のものを用いるのが好ましく、ポリエステルシートで構成する場合は厚さ0.18～0.25mmの範囲のものを用いることが好ましい。

【0036】

なお必要により表紙または表紙と裏表紙として前記合成樹脂シート2より厚手の合成樹脂シートを用いることができる。

【0037】

前記綴じ環5Aを本実施形態のように2個用いて綴じる場合、図3に一部を示している

ように綴じ環5A, 5Aの前記閉じ合わせ部6とは反対側を継ぎ部7Aで一体的に結合した構成とすることができます。

【0038】

すなわち上記継ぎ部7Aにより綴じ環5A, 5A間の間隔および姿勢を定めるとともに、継ぎ部7Aの外面をシール貼り等による表示部として使用することができ、本の形態維持のうえにおいても好ましいものとすることができる。

【0039】

図4～図7は、他の構成による綴じ具3を用いた実施形態を示すもので、ここにおいて用いられる綴じ具3は、本の背表紙に相当する細長偏平状の継ぎ部7Bと、この継ぎ部7Bの長手方向一側に等間隔において連設された複数のループ形状の綴じ環5B, 5B…とで構成されている。この場合、合成樹脂シート2の一側に前記綴じ環5B, 5B…のピッチに合わせてこれと同数の綴じ穴4, 4…が穿設される。

【0040】

前記継ぎ部7Bは、その長手方向両側部が若干カールされており、綴じ環5B, 5B…の自由端5Baも前記継ぎ部7Bの他側部の内面にそって弾性的に圧接するようカールされていて、この綴じ具3を端部から見たとき楕円形乃至は長円形状をなすように形成されている。

【0041】

上記実施形態によれば、図7に一部を切欠して示すように、継ぎ部7Bが広い面積をもって合成樹脂シート2の綴じ側の端面を覆うので、本の体裁を整えることができ、またこの継ぎ部7Bの外面に直接印刷またはシール貼り等により本のタイトルや著者名を表示する表示部8として使用することができ、本を立てて整理収蔵する場合に所望の本を取り出しやすくなることができる利点がある。

【0042】

図8は、継ぎ部7Cの各端部の綴じ環5C, 5Cを2本の紐状のものとし、その先端の一方に頭付き突起9を、他方にこの突起9が圧入される孔10を設け、この綴じ環の一方を合成樹脂シート2の綴じ穴4に通して前記突起9と孔10とを嵌着して閉じ合わせることによりループ形状として綴じるようになされたものである。

【0043】

この場合も綴じ環5C, 5Cを継ぐ継ぎ部7Cに表示部8を設けることができる。またこの継ぎ部7Cを手提げ用の吊手として機能させることができ、手に提げて持ち歩くファッション性を与えることができる。

【0044】

図9は、綴じ環(5Aを代表例として示す)の左右両側縁に細かい凹凸列11, 11が形成され、合成樹脂シート2をめくったのち合成樹脂シート2が乱りに動かないようになされたものである。

【0045】

こうすることにより、合成樹脂シート2の綴じ状態の安定性を増し、手を持って読む際に合成樹脂シート2が勝手に動かず、持ちやすい本とすることができます。

【0046】

前記合成樹脂シート2への印刷は、湿気や水濡れによって落ちることのないUVインク(紫外線照射固化インク)が用いられる。

【0047】

また合成樹脂シート2は、紙の表面に合成樹脂をコーティングしたものであってもよい。

【0048】

また本考案による耐水性本を浴槽の湯中や水中に落下させたとき、各ページが合成樹脂シートであるためぴったり貼り付いて剥し難くなることを防ぐようにしたい場合には、各ページを構成する合成樹脂シートの表面にエンボス、細溝等の凹凸加工を施すことができる。

【0049】

こうすることにより、耐水性本を湯中や水中に落としても、合成樹脂シート間に微小な隙間が形成されることにより貼り付きを防ぐことができる。

【0050】

上述したように構成される耐水性本は、小説の文庫本等として提供しても好適であるが、詰碁、詰将棋など、入浴中に思考をめぐらすような内容の本とすれば、入浴中の時間の有効利用に併せ脳の活性化にも大いに役立たせることができ、半身浴など長時間の入浴時に特に効果を發揮する本とすることができる。

【図面の簡単な説明】**【0051】**

【図1】本考案による耐水性本の一実施形態の外観を示す斜視図。

【図2】図1のA-A断面図。

【図3】同、綴じ具の綴じ環の一例を示し、(A)はその閉じ合わせ部を開いた状態、(B)は閉じた状態を示す正面図。

【図4】本考案による耐水性本の他の実施形態を示す斜視図。

【図5】図4のB-B断面図。

【図6】図4における綴じ具の一部の斜視図。

【図7】図4の耐水性本の背部を示す一部を切欠した斜視図。

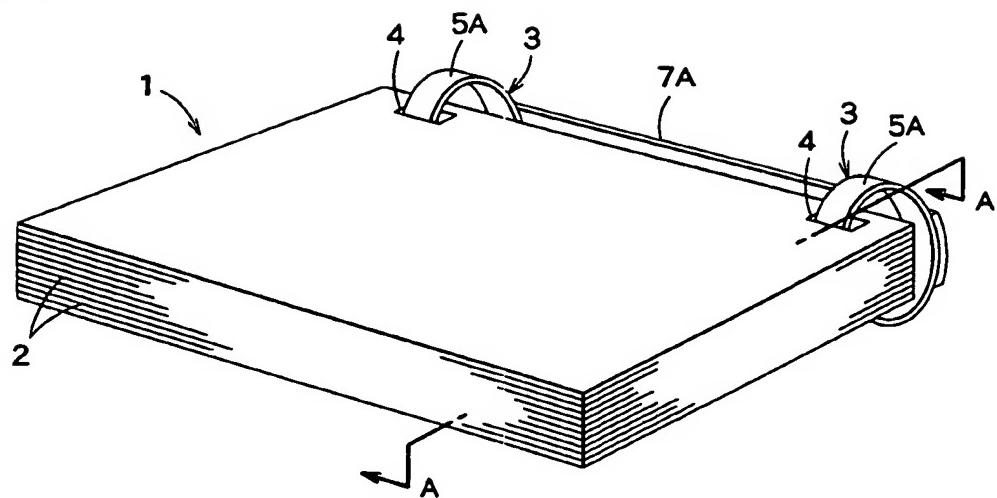
【図8】綴じ具の他の例を示す斜視図。

【図9】同、他の例の綴じ環の正面図。

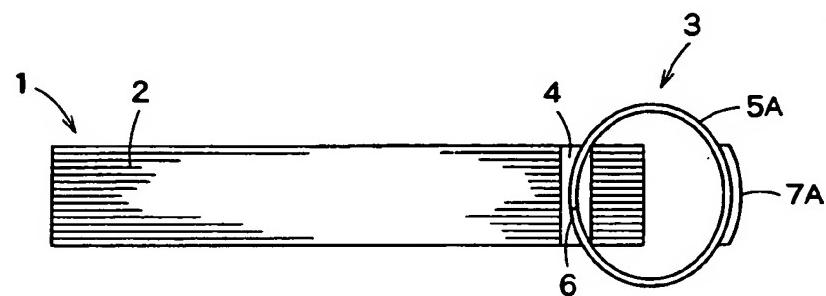
【符号の説明】**【0052】**

- 1 耐水性本
- 2 合成樹脂シート
- 3 綴じ具
- 4 綴じ穴
- 5 A, 5 B, 5 C 綴じ環
- 6 閉じ合わせ部
- 7 A, 7 B, 7 C 繰ぎ部
- 8 表示部
- 9 頭付き突起
- 10 孔
- 11 凹凸列

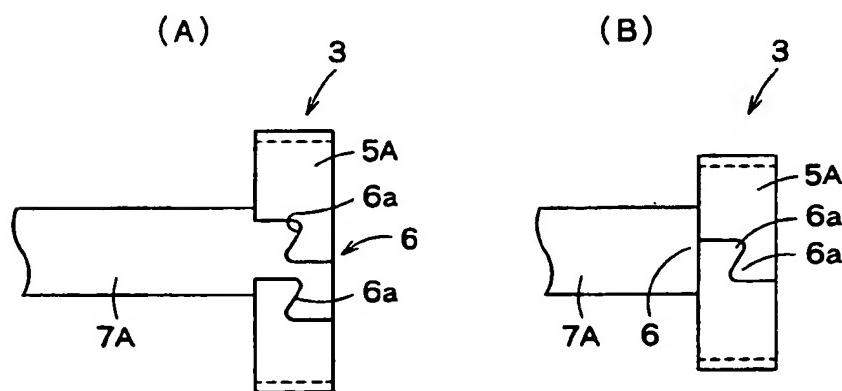
【書類名】 図面
【図1】



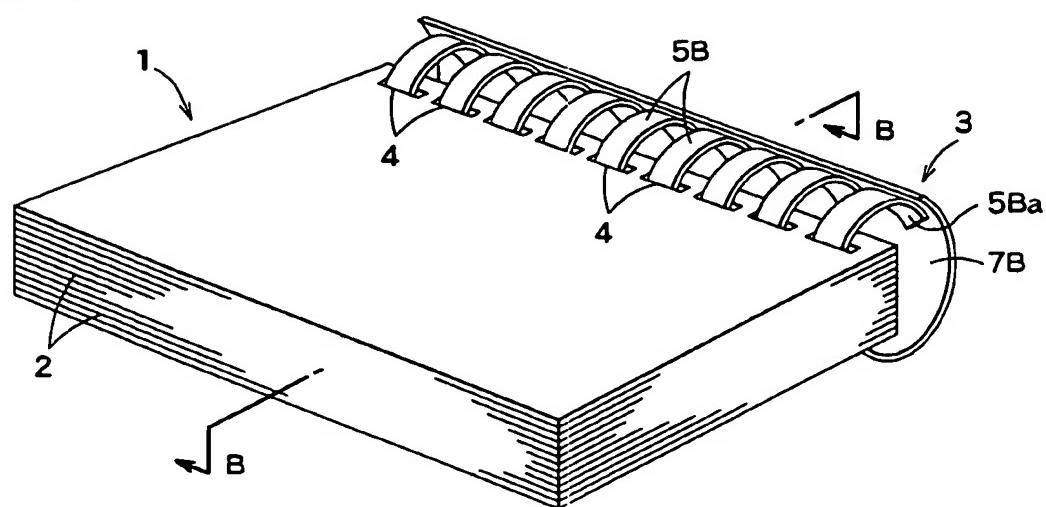
【図2】



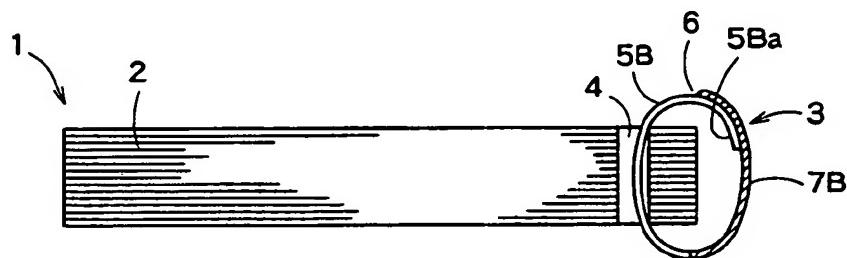
【図3】



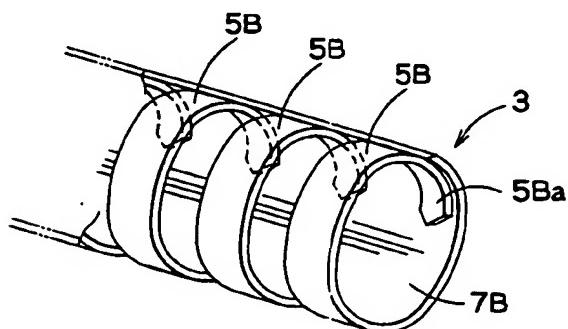
【図4】



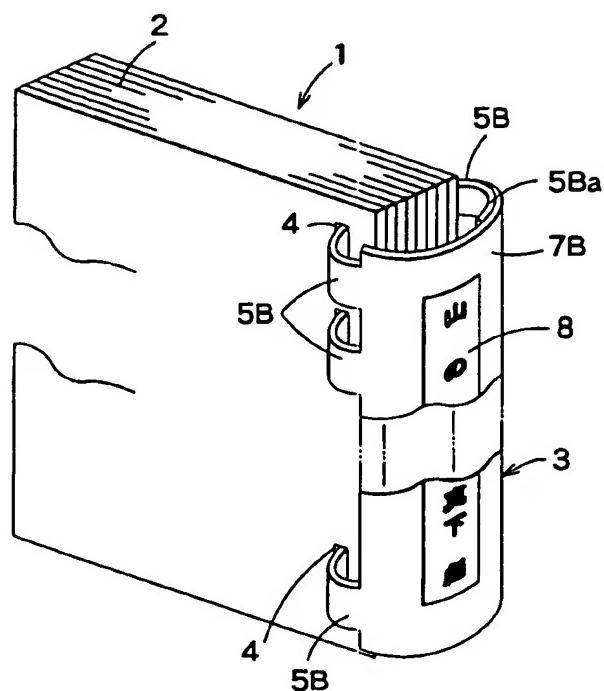
【図5】



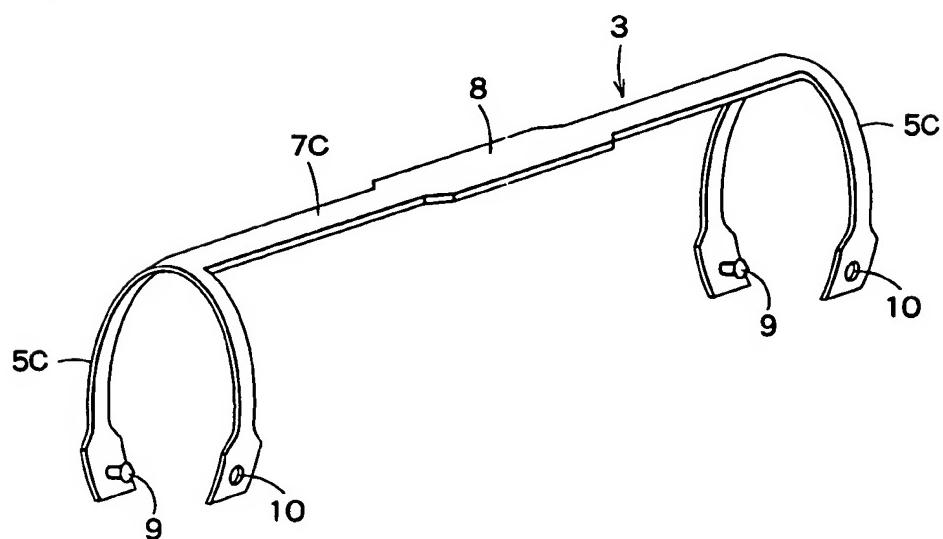
【図6】



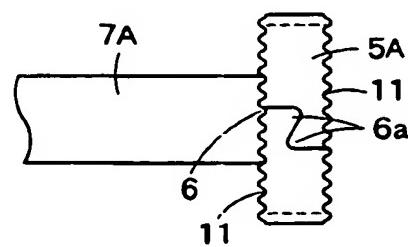
【図7】



【図8】



【図9】



【書類名】要約書

【要約】

【課題】 入浴中であっても支障なく読むことができ、本としての保形性に優れ、ページをめくっても形態を損うことなく、片手で持って楽に読むことのできる耐水性本を提供することを課題とする。

【解決手段】 一側端に複数の綴じ穴4が穿設され所要の印刷が施されて各ページを構成する複数枚の合成樹脂シート2と、本として必要な枚数の前記合成樹脂シートを重ねて前記綴じ穴で綴じる綴じ具3とを有し、この綴じ具は、少くとも2つの綴じ穴にそれぞれルーズに嵌挿されて綴じ合わされるループ形状の複数の綴じ環5Aで構成されたものである。

【選択図】 図1

実願 2004-001539

出願人履歴情報

識別番号 [596026556]

1. 変更年月日 1999年 6月30日

[変更理由] 名称変更

住所 東京都中央区新川1丁目15番2号
氏名 株式会社 プリントワン